

あべともこニュース

号外

立憲民主 RIKKEN MINSHU

人権をまもる、取り戻すための歩みをとめない

◆問われるのは日本の役割

23日、ウクライナ大統領ゼレンスキー氏によるオンラインでの国会演説が行われました。これまで既にアメリカや、ドイツなどでの演説の様子が報じられていましたが、遠く離れた日本での演説で何を語るのか、またそもそも国会演説に対して慎重であるべしとの意見もある中でした。

冒頭チエルノブイリ原発の事故による廃棄物のある土地に侵攻したロシアへの批判は、今後の長きに渡る環境汚染の指摘、またザポリージャ原発も含めて原発が標的となることの懸念も述べられました。戦争による唯一の被ばく国と言われ、加えて福島原発事故を経験した日本に対して、世界を被曝の危機に晒さない為の一層の役割が期待されていると思っただけは私のみではないはず。

日本は今こそ核兵器の廃絶と、軍事によらない国際紛争の解決に、邁進すべきです。

ウクライナの人々への支援に全力を挙げることは言うまでもありません。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県 12 区（藤沢市・寒川町）
 当選 8 回、東京大学医学部卒業、
 小児科医、あべともこ子どもクリニック（湘南台）理事長
 現在、厚生労働委員会・沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長、
 原子力問題調査特別委員会委員



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集中！

福島県民健康調査甲状腺検査結果

第43回検討委員会（2021年10月15日）発表まで

回 実施年度	一巡目 2011~2013	二巡目 2014~2015	三巡目 2016~2017	四巡目 2018~2019	五巡目 2020~2022	25歳時 (2017年 ~)	合計
がん/疑い人数	116	71	31	36	3	9	266
		一巡目結果 A1: 33	二巡目結果 A1: 7	三巡目結果 A1: 6	四巡目結果 未発表	前回結果 A1: 0	
手術数 手術結果	手術: 102 がん: 101 良性: 1	手術: 55 がん: 55	手術: 29 がん: 29	手術: 29 がん: 29	手術: 1 がん: 1	手術: 6 がん: 6	手術: 222 がん: 221 良性: 1
受診者数 (受診率)	300,472 (81.7%)	270, 540 (71.0%)	217, 922 (64.7%)	183,352 (62.3%)	32,404 (12.8%)	7,621 (8.7%)	

2年間で異常なし (A1) から少なくとも5.1mm増大した人は: 138人中46人

出典: 3/24 国会エネルギー調査会、崎山講師提供

この方々が生きておられるうちに、尊厳と人権の回復がなされるのが何より重要です。



写真: 厚労省前での街宣活動

◆何よりも人権と尊厳の回復を

旧優生保護法により、障害を理由に不妊手術や堕胎を強制された原告3人に対して計2750万円の損害賠償を命じた大阪高裁に続いて、東京高裁も原告北さんへ1500万円の賠償を命じた。しかし政府は最高裁の判断を仰ぐとして再び上告、被害者たちの苦しみを長引かせるばかりです。所謂除斥期間20年を理由にしていますが、果たしてこうした非人間的な手術を受けた被害者が、差別と偏見の中で声を上げることができたかが問われねばなりません。

◆小児甲状腺癌の激増は無視できない

24日、国会エネルギー調査会(準備会)をズームで開催、小児の甲状腺癌や原発避難計画を取り上げました。

この間4人の総理経験者が東電福島事故後の子供達の甲状腺被害を指摘し、EUでの原発投資の再開に反対を表明、それに対して日本の政府は甲状腺癌の激増は原発事故にはよらないとの反論をしています。しかし、当日の議論の中で、政府は丹念にデータや文献を見ることが指摘され、因果関係なしとしていることが指摘され、また今後の安定ヨウ素剤配布も、5キロ圏内と限定的で、次の事故の備えは無きに等しいことも明らかになりました。

なお既に、今回のロシアのチエルノブイリ原発侵攻以降ウクライナ近隣諸国では、薬局にヨウ素剤が置かれているそうです。